

世田谷村日記

石山修武

七月八日

七時過起床。今日も猛暑である。樹木はソヨとも動かぬが家の中の空気は微妙に動いている。ウサギのツトムは暑さの中で哲学者になり、小猫のイワノフは相も変らぬ普通に元気な猫だ。昨日、一階のコンクリート土間で、怪猫ドン兵衛と面会した。ドン兵衛は大きな白黒ブチの野良猫で都市の中のフテクサレ・ホームレス猫である。人間をねめつける眼つきが凄い。町の中で生きるのは大変だろうと思わせる。流石に私も野良猫とニラミ合う気力は今は無い。圧力を感じてこちらの方が眼を伏せるようになってしまった。二週間程TVが故障していて、TVを視ない生活が続いているが、確実にその分、読書、銅版画はすすんでいる。多愛ないものだ。人間も動物なのを実感してゐるだろう。

十時半研究室、照明デザイナーと打合わせ。十二時昼食さめきうどん。三〇分外国人特別入試面接。私の部屋のチリのアベル面接。合格となる。十三時過雑事。十四時半研究室を出て、目白GKへ。十五時栄久庵憲次さんと会う。フィンランド・プロジェクトに関して。十六時四〇分研究室に戻る。十七時大阪より来客。十七時半友岡清秀来室。アジアの紙の見本持参。研究室発。只今十八時過新宿より京王線稲田堤へ移動中。栄久庵さんに富士嶺観音堂の写真を送らねば。和歌山の道具寺のプロジェクトが良い方向に動くよいが。十八時半厚生館現場。十九時、理事長、雲描き島倉さん、八大建設西山さん等と打ち合せ。二〇時半修了。そ

の後会食。島倉さん、大いに語る。妹尾河童の話しも出たりしてなつかしかった。妹尾太郎も何しているんだろうね。二十三時前修了。二十四時前世田谷村に戻る。

七月九日

朝、FAXで研究室にささかの指示。久し振りに石井のスケッチに心地良いモノを感じた。この人の感応力は良い。猛暑の中、杏林病院へ。下のコンクリート土間で再び、怪猫ドン兵衛と会う。ドン兵衛の眼つきは実にイヤなモノがあるのだが、何処かで見た事があるぜ、この眼付き。昼前、世田谷村に戻る。今日はここで色々ヤル。伊東豊雄さんより久し振りに電話あり、何かたのまれた。伊東さんじゃ、イヤと言えないね。只今、十四時二〇分。うだるような暑さの中で、家の中を片付けたりしている。工夫して風が通るようにした。銅版画にとりかかる。十六時河野鉄骨来。これからの事など相談する。京王稲田堤の二つの保育園の現場を見せて、次に何をしたいと考えているのかを伝えた。すぐ実験してみるとの事である。ヨシ。十八時世田谷に戻る。屋上庭園に上り、小一時間程落日を眺めながら散水。十九時再び銅版に取り組む。烏山神社の黒い森を眺めながら風呂につかっていると、何か変なモノが身体を動かしてくるようだ。夜半、北の風が家の中を吹き抜けて心地よい。